

平成19年度事業並びに会務報告

(平成20年3月18日通常総会提出)

社団法人化学工学会

〔1〕総会・会員大会

〔2〕理事会

〔3〕理事会幹事会

〔4〕本部事業

- A. 年会・秋季大会
- B. 名誉会員候補者
- C. 化学工学会賞
- D. センター、CT、委員会活動
- E. 特別事業
- F. 受託調査・研究事業
- G. 他学協会との共催・協賛行事

〔5〕刊行物

〔6〕会員数

〔7〕支部関係

〔8〕部会関係

平成19年度事業並びに会務報告

(平成20年3月18日通常総会提出)

社団法人化学工学会

[1] 総会・会員大会

- (1) 通常総会平成19年3月20日 京都大学
- (2) 会員大会平成19年3月20日 京都大学

[2] 理事会

平成19年3・4・7・10・12月と平成20年2月に開催(化学工学会会議室)

主要な承認項目

- ・新公益法人へ移行の準備開始
- ・日本化学連合への参加
- ・電子ジャーナルの有料化
- ・情報サービスセンター組織一部を改組(広告委員会、HP委員会の設置)
- ・化学工学会著作権表示の内規及び著作物印税取扱書見直し
- ・平成19年度名誉会員候補者の決定
- ・平成19年度化学工学会賞受賞者の決定
- ・平成20・21年度役員候補者の決定
- ・平成20・21年度代議員の決定
- ・「産学連携製造中核人材育成事業」(経済産業省)受託
- ・ECO-MA2008(製造業環境・エネルギー対策展)の開催
- ・平成20年度予算案/平成19年度決算案

[3] 理事会幹事会

平成19年5・6・9・11月に開催(化学工学会会議室)

[4] 本部事業

A. 年会・秋季大会

(1) 第72年会(3月19日~21日)	京都大学	<参加者1,688名>
研究発表・技術報告	828件	
先端化学産業技術プログラム 5テーマ	66件	(3月19日~20日)
全国若手の会および懇親会		(3月19日)
特別講演	1件	(3月20日)
懇親会		(3月20日)
化学工学会賞受賞記念講演	13件	(3月19・20日)
(2) 第39回秋季大会(9月13日~15日)	北海道大学	<参加者1,830名>
展望・招待・依頼講演	74件	
シンポジウム	942件	
ポスターセッション	159件	
若手・中堅研究者懇親・講演会		(9月13日)
受賞論文賞講演	7件	(9月13日)
特別講演	1件	(9月14日)
懇親会		(9月14日)

B. 名誉会員候補者

綾部孝夫氏、新井邦夫氏、大内貞雄氏、越智健二氏、谷垣昌敬氏、中尾勝實氏、森滋勝氏

C. 化学工学会賞

[学 会 賞]

(池田亀三郎記念賞)

東谷公(京都大学)「液相微粒子分散系のミクロからマクロへの体系化」

[研 究 賞]

(内藤雅喜記念賞)佐古 猛(静岡大学)

「超臨界メタノールのミクロ溶媒特性の解明と特異的反応制御に関する研究」

(實吉雅郎記念賞)増田 隆夫(北海道大学)

「ゼオライト触媒に関する触媒分子反応工学的研究」

[研 究 奨 励 賞]

(内藤雅喜記念賞)井藤 彰(九州大学大学院)

「機能性磁性ナノ粒子を用いたティッシュエンジニアリング技術の開発」

(實吉雅郎記念賞)伊藤 大知(東京工業大学)

「腹膜癒着防止のための新規バイオマテリアルの開発」

(玉置明善記念賞)熊田 陽一(京都工芸繊維大学)

「特異的分子間相互作用を利用したタンパク質固定化技術の開発とイムノアッセイへの応用」

(内藤雅喜記念賞)境 慎司(九州大学大学院)

「Coflowing Stream を利用した微小細胞包括カプセル作製技術の開発とその応用に関する研究」

(實吉雅郎記念賞)三尾 浩((株)けいはんな)

「大規模粉体シミュレーションによる電子写真システム内現像剤流動/帯電挙動の解析」

[技 術 賞] *代表者

(大阪ガス(株)) *岸本 章、西村 浩一、柏木 愛一郎

「ビル空調の冷温水ポンプ動力を30%削減する配管摩擦低減剤の開発」

(寿工業(株)) *院去 貢、北風 俊哉、田原 隆志、大年 善文

「ナノ分散機の開発」

(東洋紡績(株)) *熊野 淳夫、丸井 一成、小寺 秀人、田中 利孝、藤原 信也

「両端開口型中空糸型逆浸透膜モジュールの開発と工業化」

(東レ(株)) *峯岸 進一、田中 祐之、植村 忠廣、松家 伸行、横川 勝己

「ポリフッ化ビニリデン製中空糸膜モジュールによる膜ろ過プロセスの開発」

((株)フジキン) *小川 洋史、久保 建二、目瀬 央欣、小路 克利、(神戸大学大学院) 鈴木洋

「新静止型流体混合・分散器の開発」

[技 術 奨 励 賞]

阿蘇谷 利光氏(出光エンジニアリング(株)) 「固体粒子群燃焼場における輻射伝熱解析手法の開発」

天野 壮一(三菱化学(株)) 「エチレンプラント初留塔の熱回収最適化」

大寶 茂樹(三井化学(株)) 「PID 制御によるプラント運転最適化構築手法の標準化」

武田 大(千代田化工建設(株)) 「活性炭触媒を用いた排煙脱硫プロセスの開発」

[学 会 活 動 功 勞 賞]

森 克芳(元(独)産業技術総合研究所) 「支部と懇話会活動に対する貢献」

脇屋 和紀((株)大川原製作所) 「化学工学会活動に対する貢献」

[研 究 功 勞 賞]

大沢 利男氏(東京大学大学院)

「CVD 反応器などの実験装置・実験手法の考案・改良による化学工学研究に対する貢献」

D. センター、CT、委員会活動

1. 地域CT

- ・「支部と懇話会の役割を明確化」と「インセンティブ」を検討。
- ・支部と懇話会の役割についてアンケートを実施。
開催委員会：地域CTと支部長の合同会議2回

2. 部会CT

- ・部会の抱える問題、部会の経理処理について情報交換と議論。
- ・化学工学会のホームページの見直しについて情報交換と議論。
開催委員会：部会長・部会CT合同会議3回

平成19年度の部会

051	バイオ部会	(東京大学)長棟 輝行氏
052	超臨界流体部会	(静岡大学)佐古 猛氏
053	エネルギー部会	(北海道大学)林 潤一郎氏
054	安全部会	(東京工業大学)仲 勇治氏
055	エレクトロニクス部会	(京都大学名誉教授)荻野 文丸氏
056	粒子・流体プロセス部会	(大阪大学)上山 惟一氏
057	システム・情報・シミュレーション部会	(東京工業大学)黒田 千秋氏
058	反応工学部会	(名古屋大学)田川 智彦氏
059	環境部会	(成蹊大学)小島 紀徳氏
060	材料・界面部会	(東北大学)今野 幹男氏
061	基礎物性部会	(日本大学)日秋 俊彦氏
062	分離プロセス部会	(名古屋大学)入谷 英司氏
063	熱工学部会	(名古屋大学)板谷 義紀氏

平成19年度の研究会

0145	マイクロ化学プロセス研究会	(千葉大学)関 実氏
------	---------------	------------

平成19年度の委員会

	化学装置材料委員会	(早稲田大学)酒井 潤一氏
--	-----------	---------------

3. 産学官連携センター

- ・運営会議の開催：3回
- ・産学官連携センター活動報告会(INCHEM TOKYO 会期中に開催)
平成19年11月6日(火) 参加者数：約50名
- ・化学工学会インターンシップの実施。
企業登録：15社17件、学生応募：23名、実施状況：10社(20名)
- ・第72年会時『先端化学産業技術プログラム』の開催。
会期：平成19年3月19日(月)～20日(火)
- ・下記委員会にて幹事会、総会、技術交流会等を開催。
開発型企業の会、SCE・Net、グローバルテクノロジー委員会、経営システム研究委員会

4. 情報サービスセンター

- ・「化学工学」カラー化の実施、和文誌電子投稿及び電子査読の検討。
- ・電子ジャーナル有料化の検討。

開催委員会

編集会議	5回
化工誌 編集委員会	5回
小委員会	5回
論文誌委員会	2回

5. 人材育成センター

(1) 理科教育委員会

- ・学生発表会を3月3日、東地区：東京農工大、西地区：大分大学で開催。東西2地区体制が定着。発表200件 参加者361名
- ・第8回関東地区中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会 教諭37名参加、味の素川崎事業所で実施。
- ・委員会2回

(2) 高等教育委員会

- ・化学工学の教科書9月出版(「はじめての化学工学」- プロセスから学ぶ基礎 - 応化を対象とした、プロセス例題からの化学工学を説明)
- ・委員会1回

(3) 教育審査委員会

- ・平成19年度化学分野審査：本格審査実施、中間審査実施、継続審査実施 大学院修士課程審査実施。

(4) 継続教育委員会

- 「研究開発のためのモデリング技術」(2日、3回) 「反応器の設計」(2日、2回)
- 「プロセス開発」(2日、1回) 「プロセス基本設計」(3日間2回、2日間1回)
- 「プラント計装入門」(2日、2回) 「P&ID-考え方と作成法」(3日、2回)
- 「プラント機器の腐食・防食/寿命予測」(2日、2回) 「仕様書の書き方」(1日、2回)
- 「レイアウトとプロットプランの決め方」(1日、1回)
- 「ケミカルエンジニアのためのデータ解析技術」(2日、1回)
- 「リスクマネジメント - リスクの評価と対策」(2日、1回)
- 「化学プラントの安全」(1日、1回) 「化学関連産業におけるMOT」(1日、1回)
- 住友化学出張(1日、1回) 三菱ガス化学出張(2日、1回)
- 計15プログラム、24回、46日間実施(うち中国四国支部共催2回)
- ・委員会3回

(5) 経営ゼミナール委員会

- ・第33回経営ゼミナールを実施。講師として、林 文子氏(ダイエー副会長) 上田昭夫氏(ラグビーU-21 日本代表/慶応大学元監督) 他6名を招聘。関西、東京、東海、つくばの4セッション(各1泊2日)に46名参加。
- ・過去の受講者によるネットワーク作りのためのOB会を立ち上げ。
- ・過去4年間の受講者対象の特別講演会を開催。
- ・委員会7回

(6) 資格制度運営委員会

- ・上席化学工学技士試験、化学工学技士試験および化学工学修習士登録・審査を実施。上席化学工学技士合格者30名、化学工学技士合格者21名、化学工学修習士登録者204名。

6. 戦略企画センター

- ・戦略シンクタンク委員会(5回開催)を中心に日本化学連合に対する対応等を検討。日本化学連合に正式に入会。今後も理事として情報の収集と化学工学会の意見の集約を行う。
- ・秋季大会において戦略シンクタンク委員会主催の座談会を開催。座談会「これでいいのかが化学工学(教育)、産業界のつばやき(産業界から大学での化学工学教育に期待すること)」を実施。

7. 国際交流委員会

(1) 中国委員会

- ・中国委員会3回、中国懇話会3回
- ・INCHEM TOKYO 2007 参加

- 中国コーナー開催、中国化学学会訪問団受け入れ（中国化学学会 曹理事長来日）
- 中国委員会紹介パネル展示、関東地区学生と企業の懇談会（関東支部と共催）
- ・第4回日中化工シンポジウム、12月19日～21日中国成都で開催（三浦会長参加）
- 中国の日本企業視察（トヨタ自動車、日本化学工業）
- 日本への留学経験のある中国研究者、技術者との懇談会開催

(2) 欧米担当：AICHE Annual Meeting

November 4-9, 2007 Salt Lake City Salt Palace Convention Center
SCEJ Reception 11月7日（水）19:00～21:30 Convention Center（約50名参加）

(3) 韓国委員会

- ・第20回化学工学に関する日韓シンポジウム 参加者：387名（三浦会長参加）
- 時期：2007年12月1日～2日， 場所：国立 Hanbat 大学（韓国太田市）

(4) ASEAN委員会

- ・第14回RSCEインドネシアで開催
- 2007年12月4日～5日 Yogyakarta Gadjarda University

8. リエゾン委員会

- ・化学工学修習士履修科目対応表調査（資格制度運営委員会）への協力
開催委員会 1回

9. 表彰委員会

- ・平成19年度化学工学会賞候補者の審査
開催委員会
学会賞選考委員会 1回、 研究賞選考委員会 2回、 研究奨励賞選考委員会 2回
技術賞選考委員会 2回、 技術奨励賞選考委員会 2回

10. 男女共同参画委員会

- ・第72年会でパネルディスカッション「持続可能なワークスタイルってなんだろう？
-動き始めた女性支援システム」を開催。
- ・39回秋季大会で特別講演「新潮流に向かう男女共同参画～ライフ&ワークバランスを
いかに保つか」を開催。
- ・第4回女子学生のためのイブニング就職セミナーを開催、参加者29名。
- ・第2回科学技術系専門職の男女共同参画実態調査アンケートの実施
- ・開催委員会 6回

11. 会員増強委員会

- ・「JST 支援の未公開特許技術発表会」を検討。
- ・会員増強キャンペーンの実施を再検討。
- ・開催委員会 2回

E. 特別事業

1. 夢・化学21 キャンペーン事業（15年目）

- 化学工学会を含む4団体主催、文部科学省、経済産業省
- ・「全国高校化学グランプリ2007」「国際化学オリンピック」・・・（2,009名、優秀賞他57名）
- ・「夏休み子供化学実験ショー」・・・（日本科学未来館8,710名）

2. INCHEM TOKYO 2007 会場：東京ビッグサイト

展示会会期：11月6日（火）～11月9日（金）
出展社数：467社 / 1,039小間 来場者数：86,482名

F. 受託調査・研究事業

1. (株)日鉄技術情報センター

「省エネルギー技術戦略に関する調査」

委員長 林 潤一郎(北海道大学)

2. 経済産業省

「中小企業産学連携製造中核人材育成事業」

プロジェクトリーダー 伊藤 俊明

G. 他学会との共催・協賛行事 243件

[5] 刊行物

1. 会誌

(1) 「化学工学」誌 71巻1号～12号、年間本文882ページ、会告226ページ

年間発行部数115,125部(毎号平均9,600部)

特集記事: 1号 暮らしに安心、快適をもたらす化学工学

2号 水素社会はいつ到来するのか

<小特集> マイクロカプセル

3号 マイクロバブル

4号 シミュレータ(マイクロからマクロまで)

5号 日本のコンビナートが変わる(石油コンビナート高度統合技術開発)

<小特集> 海洋利用技術の最新動向1(海洋エネルギーの開発)

6号 国立高等専門学校の可能性

<小特集> 海洋利用技術の最新動向2(海洋の資源・バイオマス生産)

7号 色素増感太陽電池の動向

8号 超臨界流体を利用した材料開発

9号 脱臭技術の最前線

10号 化学工学年鑑2007

11号 地球温暖化対策技術におけるCO₂固定化の現状と将来

12号 エタノール

(2) 「化学工学論文集」33巻1号～6号、毎号1,265部

33巻1号 76ページ報文 9件、ノート 3件、化工データ1件、

2号 110ページ報文 13件、ノート 3件

3号 92ページ報文 12件、ノート 2件

4号 104ページ報文 13件、ノート 2件

5号 118ページ報文 13件、ノート 4件、化工データ1件

6号 128ページ報文 16件、ノート 1件

合計 628ページ報文 76件、ノート 15件、化工データ2件

(3) “JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN”

40巻 No.1～12号(2007)毎号1,175部

Vol.40 No.1 84ページ Research Paper(RP)8件、Short Communication(SC)5件

No.2 118ページ RP 13件、SC 4件

No.3 78ページ RP 7件、SC 5件

No.4 104ページ RP 12件、SC 2件

No.5 78ページ RP 9件、SC 1件、

No.6 76ページ RP 8件、SC 4件

No.7 6ページ RP 7件、SC 1件

No.8 88ページ RP 10件、SC 2件 Journal Review(JR)1件

No.9	100 ページ	RP 12 件、SC 3 件
No.10	86 ページ	RP 8 件、SC 4 件
No.11	152 ページ	RP 15 件、SC 2 件 JR 3 件
No.12	108 ページ	RP 10 件、SC 3 件 JR 1 件
合計	1,138 ページ	RP 119 件、SC 36 件、JR 5 件

2. 不定期刊行物

最近の化学工学 58

「超臨界流体技術の実用化最前線」

(関東支部編)

はじめて学ぶ熱・エネルギー

(SCE - NET 編)

はじめての化学工学

(高等教育委員会編)

[6] 会員数 (平成 20 年 2 月 29 日現在)

会員種別	正 会 員	学生会員	維持会員	特別会員	地区会員	教育・研究機関 特別購読	前 会 長 名誉会員	計	
平成 19 年 2 月末 現 在	7,058	1,498	115 社 (134 口)	254 社 (254 口)	184 社 (185 口)	78 社 (76 口)	98	9,285	
平成 19 年 度 中 の	入会	373	868	2 (2)	16(16)	8 (8)	0 (0)	0	1,267
	退会	855	540	2 (2)	10 (10)	13(13)	1(1)	7	1,428
	資格 変更	278	-280	0 (0)	-1 (-1)	1 (1)	0(0)	2	0
平成 20 年 2 月末 現 在	6,854	1,546	115 社 (134 口)	259 社 (259 口)	180 社 (181 口)	77 社 (75 口)	93	9,124	

[7] 支 部 関 係

A . 北 海 道 支 部

1 . セミナー・講演会

- (1)第 10 回技術懇談会(懇話会 136 回講演会)および化学工学北海道懇話会総会(6 月 12 日)
「北海道産バイオマスの利活用に向けて」 北海道大学学術交流会館 < 51 名 >
- (2)第 10 回化学工学北海道アカシアセミナー(懇話会 137 回講演会)(7 月 31 日)
「環境調和型バイオプラスチック開発の動向」 北海道大学学術交流会館 < 60 名 >
- (3)特別講演会(第 138 回講演会)および工場見学会(11 月 30 日)
「北海道 PCB 廃棄物処理施設見学」 日本環境安全事業所株式会社北海道事業所 < 50 名 >

2 . 共催・協賛行事

- (1)第 21 流動層技術コース(8 月 30 ~ 31 日) 産業技術総合研究所つくば西事業所 < 36 名 >
- (2)(社)化学工学会第 39 回秋季大会 北海道大学高等教育機能開発総合センター < 1830 名 >
- (3)北海道粉体基礎技術研修会(9 月 27 ~ 28 日) 北海道北海道立工業試験場 < 49 名 >
- (4)平成 19 年度微粒子工学講演会(9 月 28 日) コラボほっかいどう < 47 名 >
- (5)関東・東北・北海道合同支部大会(11 月 7 日) 東京ビッグサイト < 64 名 >
- (6)第 10 回化学工学会学生発表会(群馬大会)(3 月 1 日) 桐生市市民文化会館 < 150 名 >

3 . 研究発表会

- (1)第 17 回化学工学・粉体工学研究発表会(1 月 25 ~ 26 日) 北海道大学水産学部 < 50 名 >

4 . 会合

- 幹事会 2 回
- 常任幹事会 2 回
- 第 39 回秋季大会実行委員会 5 回
- 北海道支部・化学工学北海道懇話会合同運営協議会 2 回

5 . 地区懇話会

北海道懇話会(全て支部と共催、技術懇談会、講演会・見学会は懇話会が主管)

- (1)第 10 回技術懇談会(懇話会 136 回講演会)および化学工学北海道懇話会総会(6 月 12 日)
「北海道産バイオマスの利活用に向けて」 北海道大学学術交流会館 < 51 名 >
- (2)第 10 回化学工学北海道アカシアセミナー(懇話会 137 回講演会)(7 月 31 日)
「環境調和型バイオプラスチック開発の動向」 北海道大学学術交流会館 < 60 名 >
- (3)特別講演会(第 138 回講演会)および工場見学会(11 月 30 日)
「北海道 PCB 廃棄物処理施設見学」日 本環境安全事業所株式会社北海道事業所 < 50 名 >
- (4)第 17 回化学工学・粉体工学研究発表会(1 月 25 ~ 26 日) 北海道大学水産学部 < 50 名 >

B . 東 北 支 部

1 . セミナー・講習会・講演会

- (1)第 26 回プロセス設計技術講演会・見学会(3 月 7 日) 東北大学工学部 < 19 名 >
見学会「東北大学工学部厨川研究室」
講演会「ナノ精度機械加工が与えるイノベーション」
「無機ガスバリア膜(クレースト)」
- (2)東北支部特別講演会(4 月 27 日) 東北大学工学部 < 29 名 >
「超臨界反応による特異反応制御・新材料創生に関する研究」
「次術者教育 30 年-高専での地域連携協力をとおして-」

- (3)第 15 回若手の会セミナー(6月 15~16 日) 東北大学工学部 < 72 名 >
「電子顕微鏡と試料作成技術の紹介」
「最新の透過電子顕微鏡技術とその応用」
「走査電子顕微鏡入門」
- (4)第 27 回プロセス設計技術講演会・見学会(7月 12 日) 宮城県産業技術総合センター < 33 名 >
見学会「宮城県産業技術総合センター」
講演会「宮城の産業振興と産学連携そして公設試」
「企画・事業推進部の業務・成果紹介」
「機械電子情報技術部の業務・成果紹介」
「材料開発・分析技術部の業務・成果紹介」
「バイオ技術部の業務・成果紹介」
- (5)第 12 回東北支部講習会(8月 6~7 日) 山形大学工学部米沢市伝国の杜 < 50 名 >
見学会「株式会社シー・シー・ワイ米沢試験センター乳酸誘導体製造実証プラント」
講演会「米のエタノール利用に向けた政策的課題」
「バイオマスプラスチックについて」
「バイオマスプラスチック製造コスト低減に向けた技術開発」
「東北地域におけるバイオマスエネルギー利活用の現状」
「質バイオマスのカスケード利用システムの構築」
「東京ガスのバイオマス事業への取り組み」
- (6)第 28 回プロセス設計技術講演会・見学会および第 26 回ケミカルエンジニアリング交流会
(10月 19日) 秋田大学 < 49 名 >
見学会「秋田製錬株式会社飯島製錬所」
講演会「亜鉛湿式製錬プロセスの改善について - 高温高酸浸出による実収率向上 - 」
「白神こだま酵母の培養について」
「金属還元反応の制御 - 溶融還元から微粒子製造まで - 」
- (7)化学工学会 3 支部合同地方大会(11月 7日) 東京ビックサイト < 64 名 >
- (8)第 29 回プロセス設計技術講演会・見学会(1月 25 日) 東北大学工学部 < 23 名 >
見学会「東北大学大学院工学研究科西澤研究室」
講演会「バイオインターフェースのダイナミック制御」
「天然抗酸化剤の酸化反応機構の解明 - 抗酸化剤の効果的な使用法の提言 - 」

2. 共催・協賛行事

- (1)第 9 回化学工学学生発表会(東京大会)(3月 3日) 東京農工大学 < 220 名 >
- (2)岩手化学工学懇話会講演会(5月 18日) 岩手大学工学部 < 148 名 >
- (3)第 17 回化学工学一関セミナー(6月 9日) 一関工業高等専門学校 < 100 名 >
- (4)福島化学工学懇話会見学会・講演会(7月 25日) アサヒビール(株)福島工場 < 36 名 >
- (5)東北大学工学部オープンキャンパス(7月 30~31 日) 東北大学工学部 < 2058 名 >
- (6)第 6 回岩手化学工学懇話会および岩手県中小企業家同友会産学官連携研究会の講演会(9月 19日)
岩手大学工学部 < 70 名 >
- (7)第 1 回宮城化学工学懇話会先端研究発表会(9月 10日) 東北大学工学部 < 22 名 >
- (8)第 7 回岩手化学工学懇話会講習会(9月 19日) 北上市市民交流プラザ < 45 名 >
- (9)第 28 回プロセス設計技術講演会・見学会および第 26 回ケミカルエンジニアリング交流会(10月 19日)
秋田大学 < 49 名 >
- (10)第 23 回表面技術セミナー(11月 9日) 岩手大学工学部 < 156 名 >

- (11)2007 年度粉体工学東北談話会講演会(11月17日) 一関工業高等専門学校<51名>
 (12)第27回ケミカルエンジニアリング交流会(1月24日) 秋田大学<44名>
 (13)福島化学工学懇話会見学会(2月15日)日本化成(株) 小名浜工場<15名>
 (14)福島化学工学懇話会講演会(2月25日) 日本大学工学部<14名>

3. 地区懇話会

青森化学工学懇話会

- (1)第9回化学工学会学生発表会(関東大会)(3月3日) 東京農工大学<220名>
 <主催:化学工学会>
 (2)青森化学工学懇話会総会(6月15日) 八戸地場産業振興センター<18名>
 (3)青森化学工学懇話会講演会(6月15日) 八戸地場産業振興センター<25名>
 (4)青森化学工学懇話会技術講演会(11月9日) 八戸地域地場産業振興センター<32名>

秋田化学工学懇話会

- (1)第9回化学工学会学生発表会(関東大会)(3月3日) 東京農工大学<220名>
 <主催:化学工学会>
 (2)秋田化学工学懇話会総会(5月18日) 秋田大学<20名>
 (3)第25回ケミカルエンジニアリング交流会(5月18日) 秋田大学<48名>
 (4)第28回プロセス設計技術講演会・見学会および第26回ケミカルエンジニアリング交流会(10月19日)
 <主催:東北支部・秋田化学工学懇話会> 秋田大学<49名>
 (5)第42回秋田化学技術協会研究発表会・特別講演会(12月14日) 秋田大学<59名>
 <主催:秋田化学技術協会>
 (6)第27回ケミカルエンジニアリング交流会(1月24日) 秋田大学<44名>

岩手化学工学懇話会

- (1)第9回化学工学会学生発表会(関東大会)(3月3日) 東京農工大学<220名>
 <主催:化学工学会>
 (2)岩手化学工学懇話会総会(5月18日) 岩手大学工学部<20名>
 (3)岩手化学工学懇話会講演会(5月18日) 岩手大学工学部<148名>
 (4)第17回化学工学一関セミナー(6月9日) 一関工業高等専門学校<100名>
 (5)夢・化学21 化学への招待(7月28日) 岩手大学<25名>
 (6)第6回岩手化学工学懇話会および岩手県中小企業家同友会産学官連携研究会の講演会(7月31日)
 岩手大学工学部<70名>
 (7)第7回岩手化学工学懇話会講演会(9月19日) 北上市市民交流プラザ<45名>
 (8)INS未利用資源活用研究会第4回全県大会(併設岩手化学工学懇話会講演会講演会)(12月10日)
 盛岡市産学官連携研究センター<51名>

山形化学工学懇話会

- (1)第9回化学工学会学生発表会(関東大会)(3月3日)東 京農工大学<220名>
 <主催:化学工学会>
 (2)山形化学工学懇話会総会(5月25日) 山形大学工学部<22名>
 (3)山形化学工学懇話会講演会(5月25日) 山形大学工学部<57名>
 (4)卒業研究の企業・市民への成果紹介と討論(11月28日) 山形大学工学部<212名>
 (5)山形化学工学懇話技術講演会(12月12日) 山形大学工学部<37名>
 (6)大学院研究の企業・市民への成果紹介と討論(2月18日) 山形大学工学部<152名>
 (7)卒業研究の企業・市民への成果紹介と討論(2月20~21日) 山形大学工学部<183名>

宮城化学工学懇話会

- (1)第9回化学工学会学生発表会(関東大会)(3月3日) 東京農工大学<220名>
<主催:化学工学会>
- (2)第26回プロセス設計技術講演会・見学会(3月7日) 東北大学工学部<19名>
- (3)宮城化学工学懇話会総会(4月27日) 東北大学工学部<18名>
- (4)第27回プロセス設計技術講演会・見学会(7月12日) 宮城県産業技術総合センター<33名>
- (5)第12回東北支部講習会(8月6~7日) 山形大学工学部・米沢市伝国の杜<50名>
<主催:東北支部>
- (6)第1回宮城化学工学懇話会先端研究発表会(9月10日) 東北大学工学部<22名>
- (7)第28回プロセス設計技術講演会・見学会(10月19日) 秋田大学<49名>
<主催:東北支部・秋田懇話会>
- (8)第29回プロセス設計技術講演会・見学会(1月25日)
<主催:東北支部> 東北大学工学部<23名>

福島化学工学懇話会

- (1)第9回化学工学会学生発表会(関東大会)(3月3日) 東京農工大学<220名>
<主催:化学工学会>
- (2)福島化学工学懇話会総会(4月27日) 東北大学工学部<4名>
- (3)福島化学工学懇話会見学会・講演会(7月25日) アサヒビール(株)福島工場<36名>
- (4)福島化学工学懇話会見学会(2月15日)日本化成(株) 小名浜工場<15名>
- (5)福島化学工学懇話会講演会(2月25日) 日本大学工学部<14名>

4. 会合

役員会 1回

C. 関東支部

1. 講演会

- (1)ホットな話題の講演会(11月28日)
「石油代替燃料製造技術の現状と展望」 東京理科大学<445名>
- (2)The Researcher 招待講演会(11月7日) 東京ビッツ社<40名>
- (3)第11回旬の技術講演・見学会(11月29日) マイクロ化学技研(株)<19名>
「マイクロ化学チップ実用化最前線を探る」

2. 講習会

- (1)第12回高校生のための現代寺子屋講座(3月10日) 早稲田大学<50名>
- (2)第38回CEシリーズ講習会(5月11日) 慶応義塾大学<90名>
「マイクロバブルの発生・測定および実用プロセスへの応用」
- (3)第12回基礎化学工学講習会(9月20・21日、10月9~11日、11月15・16日) 日本化学会館<69名>
- (4)千葉コンビナート講習会(11月27日) 住友化学(株)<93名>
- (5)最近の化学工学講習会58(12月4・5日) 早稲田大学<86名>
「超臨界流体技術の実用化最前線」
- (6)神奈川コンビナート講習会(1月23日) 千代田化工建設<47名>

3. セミナー・フォーラム・シンポジウム

- (1)第12回材料セミナー(1月21日) 東京工業大学<25名>
「化学設備のリスク評価とRBMの基礎と応用」
- (2)第13回イブニングセミナー(1月30日) 東京理科大学<25名>

「半導体フォトレジスト材料分野のホットな話題」

(3)大学生のための工場見学会(10月31日)

東京ガス根岸工場<19名>

4. 関東技術サロン

(1)第36回「持続可能なモビリティへの取り組みと燃料電池自動車の開発」
(7月9日)

東京理科大学<43名>

(2)第37回「強い会社・組織は現場力が違う」(11月30日)

早稲田大学<70名>

5. 東京(3支部合同)大会(関東支部・北海道支部・東北支部)

(11月7日)

東京ビッグサイト<64名>

6. 学生賞ポスター発表会(11月7日)

東京ビッグサイト<40名>

7. 第9回化学工学会学生発表会(共催)(3月3日)

東京農工大学<214名>

8. 会合

幹事会 6回

運営会議 3回

9. 地区懇話会

新潟地方化学工学懇話会

(1)第1回幹事会(4月18日)

新潟大学駅南キャンパス CLLIC<10名>

(2)平成19年度理事会・総会(5月31日)

割烹の宿湖畔<24・40名>

(3)第116回講演会(5月31日)

割烹の宿湖畔<43名>

(4)企業先端技術講演会2007(7月24日)

新潟大学工学部<49名>

(5)第13・14・15回中堅技術者のための化学工学基礎講習会
(8月3・8日、9月4日)

新潟大学駅南キャンパス CLLIC
<28・26・24名>

(6)第2回幹事会(9月20日)

日揮化学(株)<12名>

(7)第117回講演会・工場見学会(9月20日)

日揮化学(株)<42名>

(8)酸性雨・雪シンポジウム(共催)(11月3日)

新潟大学大学院自然科学研究科<75名>

(9)第16・17・18回中堅技術者のための化学工学基礎講習会
(11月30日、12月7・14日)

上越技術支援センター
<16・14・9名>

(10)第3回幹事会(1月17日)

東映ホテル<13名>

(11)第118回講演会 - 技術・学術講演 - (1月17日)

東映ホテル<20名>

(共催:新潟大学地域共同研究センター)

(12)特別講演会(1月17日)

東映ホテル<82名>

北関東化学技術懇話会

(1)総会および記念講演会(5月25日)

桐生地場産業振興センター<30名>

(2)研修懇親会「火災・爆発と安全」(10月9日)

ホテル丸治<17名>

(3)工場見学会・技術講演会見学及び講演会(12月20日)

三洋エナジートワイセル<24名>

つくば化学技術懇話会

(1)講演会(4月23日)

食品総合研究所<25名>

Membrane Technology in Degumming, Dewaxing, Deacidifying, and Decolorizing Edible Oils - An Overview

(2)平成19年度総会・講演会(7月2日)

産業技術総合研究所<20名>

(3)講演会(8月25日)

「生体細胞は異物表面とサイズを認識する」

筑波大学<50名>

神奈川技術懇話会

(1)第167回神奈川技術懇話会(10月29日)

日揮(株)<14名>

(2)神奈川コンビナート講習会(1月23日)

千代田化工建設(株)<47名>

(3)幹事会(10月・2月)

D. 東海支部

1. 講習会

(1)第31回基礎化学工学演習講座(6月13日～15日, 20日～22日) 名古屋市工業研究所<66名>

(2)第41回化学工学の進歩講習会(11月1～2日)
「乾燥技術-装置の選定と設計-」 名古屋市工業研究所<54名>

2. 講演会

(1)第67回研究談話会/反応場の工学セミナー(12月10日)
「新しい反応場の構築と触媒プロセスへの応用」 名古屋大学<35名>

3. セミナー

(1)第40回研究交流セミナー/第15回静岡フォーラム(9月21日)
「安全への取り組み」 アクトシティ浜松<36名>

4. 東海技術サロン

(1)第92回東海技術サロン「美と健康の先端科学！」(9月14日) 竹本油脂(株)中央研究所<46名>
「メイクアップ化粧品における粉体技術の応用」
ロリアル化粧品株式会社メイクアップ応用研究所マネージャー
鈴木 高広 氏

「機能性食品の研究・開発-セサミンを中心にして-」

サントリー株式会社健康科学研究所所長 木曾 良信 氏

(2)第93回東海技術サロン(2月13日) メルパルク NAGOYA<62名>
「ワインの話」 サントリー株式会社登美の丘ワイナリー所長 大川 栄一 氏

5. 会員増強活動

(1)第2回三重コロキウム(1月24日) じばさん三重, コスモ石油(株)<27名>

6. 各会行事活動

(1)未来の化学工学を考える会

1) P & D委員会(2回)(3月19日, 9月13日)

2) P & Dセミナー(12月14日) 名古屋大学<15名>

3)若手・中堅研究者懇親・講演会(3月19日) 京都大学<29名>

4)若手・中堅研究者懇親・講演会(9月13日) 北海道大学<30名>

(2)ChET(旧若手の会)

1)委員会(4回)(4月7日, 8月9日, 9月25日, 12月8日)

2)第3回ChETシンポジウム(10月6日) 名古屋大学<57名>

(3)中化連特別討論会

1)第38回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(11月10日)

「脱石油資源エネルギーの最前線」 三重大学<30名>

(4)部会共同主催行事

1)第4回分離プロセス基礎講座(5月25日)

固液分離工学-基礎と応用- 名古屋市工業研究所<50名>

2)抗体医薬製造技術基礎講習会(10月25日～26日)

ホテル名古屋ガーデンパレス<101名>

7. 本部行事

(1)第33回経営ゼミナール(東海地区)(10月19日～20日) 邦和セミナープラザ<41名>

(2)産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会

委員会：5回

8. 静岡化学工学懇話会

- (1)役員会・総会・見学会/第34回静岡コロキウム(6月7日) 東レ(株)三島工場<55名>
(2)第15回静岡フォーラム/第40回研究交流セミナー(9月21日) アクトシティ浜松<36名>
「安全への取り組み」
(3)第16回企業技術交流会「今後のガス体エネルギー」(12月20日) 中部ガス(株)浜松支店<27名>
(4)2007年度ミニ講演会「材料工学の最前線」(2月12日) 静岡大学<28名>
(5)役員会・第35回静岡コロキウム(2月20日) 日本軽金属(株)清水工場<31名>
「機能性フィラーの最近の進歩」

9. 共催・協賛行事

- (1)第9回化学工学会学生発表会「東京大会」(3月3日)
<主催：化学工学会> 東京農工大学<220名>
(2)色材セミナー「ナノ顔料における表面処理と機能性付与」(3月15日)
<主催：色材協会中部支部> 名古屋市工業研究所<58名>
(3)第12回SPring-8触媒評価研究会(5月14日)
<主催：SPring-8利用推進協議会研究開発委員会> 名古屋大学<50名>
(4)分離技術会年会2007(6月7日～8日)
<主催：分離技術会> 名古屋工業大学<289名>
(5)油化学セミナー「リン脂質応用の新展開 リポソームの科学」(6月7日)
<主催：日本油化学会東海支部> 名古屋市工業研究所<44名>
(6)第7回中部談話会若手勉強会(9月18日～19日)
<主催：粉体工学会中部談話会> アーブしが<25名>
(7)東海コンファレンス2007 in 岐阜(9月21日)
<主催：日本化学会東海支部> 岐阜大学<138名>
(8)第15回東海高分子基礎研修コース(10月18日～19日)
<主催：高分子学会東海支部> 名古屋工業大学<45名>
(9)INCHEM TOKYO 2007 濾過分離シンポジウム(11月7日～8日) TIME24ビル<120名>
<主催：化学工学会、世界濾過工学会日本会、化学工学会分離プロセス部会固液分離分科会>
(10)第38回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(11月10日～11日)
<主催：中部化学関係学協会支部連合協議会> 三重大学<580名>
(11)油化学講演会「化粧品の化学と技術、最前線」(11月21日)
<主催：日本油化学会東海支部> 名古屋市工業研究所<49名>
(12)分離技術会第8回東海地区分離技術講演会「最近のVOC回収技術・装置」(11月29日)
<主催：分離技術会> 三菱化学(株)四日市事業所<33名>
(13)東海化学工業会セミナー「元素を駆使した光・電子材料の研究開発」(12月6日)
<主催：東海化学工業会> 栄ガスビル<33名>
(14)ISO/IEC国際標準化セミナーファインセラミックスの国際標準化と企業の事業化戦略(12月7日)
<主催：(独)産業技術総合研究所産学官連携推進部門工業標準部 計測フロンティア研究部門 中部
産学官連携センター> 愛知県産業貿易館<82名>
(15)第19回名古屋コンファレンス(1月15日～16日)
<主催：日本化学会東海支部> 名古屋大学<108名>
(16)平成19年度東海シンポジウム(1月31日～2月1日)

「高分子のナノ構造制御と微細加工の最前線-未来の高分子産業へ向けて-」

<主催：高分子学会東海支部>

名古屋国際会議場<92名>

10. 役員会等

役員会	1回
元支部長会	1回
次期支部長選考委員会	1回

11. 幹事会等

幹事会	6回
常任幹事会	4回
拡大幹事会	1回

E. 関西支部

1. セミナー

- (1)粉体系プロセスシミュレーションの基礎と新技術動向(6月15日)
奈良先端科学技術大学院大学<26名>
- (2)損傷事例から学ぶ非金属材料の選定・設計・補修方法(6月20日)
<装置材料委員会共催>大阪科学技術センター<32名>
- (3)高分子(微粒子)の精密合成による機能性微粒子材料調製(6月22日)
大阪産業創造館<46名>
- (4)ナノ材料の計測と環境・健康への影響(10月2日)
大阪科学技術センター<55名>
- (5)廃棄物リサイクル技術と関連産業の今後 - 講演&大阪府エコタウン見学会(10月19日)
大阪府エコタウン<45名>
- (6)第25回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー(12月7,8日)
<SIS部会プラオペ分科会共催>大阪ガス(株)奥池ロッジ<54名>
- (7)医薬品製造に関わるGMPとその要素技術の最新動向:講演&見学会(1月31日~2月1日)
大阪科学技術センター<156名>
見学先:住友化学(株)、大洋薬品工業(株)、大塚製薬(株)
- (8)第6回最先端バイオテクノロジー若手研究発表会(2月18日)
<バイオ部会共催>神戸女学院大学<52名>

2. 講習会

- (1)第13回実践化学工学講座(10月31日~12月4日の9日間) 大阪科学技術センター<111名>
- (2)化学工学アドバンスコース「攪拌・混合」(2月5日) 大阪科学技術センター<5名>

3. サロン・講演会等

- (1)第2回北陸地区化学工学研究交流会(3月13日)<北陸化学工学懇話会共催>
富山大学<53名>
- (2)第1回水素・燃料電池システム研究会・定例会(4月19日) 京都リサーチパーク<20名>
- (3)高度分離技術研究会第1回例会(3月26日) 大阪科学技術センター<25名>
- (4)関西支部セミナー・交友会(6月8,9日) サントリー(株)京都工場ほか<58名>
- (5)第22回資源・エネルギー研究会/第15回環境・廃棄物研究会合同講演会(6月15日)
同志社大学今出川キャンパス<10名>
- (6)開発型企業連携研究会(7月5日) 大阪科学技術センター<30名>
- (7)第2回水素・燃料電池システム研究会・定例会(8月30日) 京都リサーチパーク<22名>

- (8)高度分離技術研究会第2回例会(9月5日) 大阪科学技術センター<27名>
 (9)第23回資源・エネルギー研究会/第16回環境・廃棄物研究会合同講演会(11月9日) 大阪科学技術センター<8名>
 (10)水素・燃料電池ワークショップ in Kyoto(11月27日) 京都リサーチパーク<91名>
 (11)第1回若手研究交流会<上海市化学化工学会共催>(12月5,6日) 大阪科学技術センター<79名>
 (12)開発型企業連携研究会(12月13日) 大阪科学技術センター<23名>
 (13)環境とエネルギー<和歌山地区共催>(1月18日) ダイワロイネットホテル和歌山<42名>
 (14)第25回播磨産業フォーラム(1月30日)「地球温暖化と対応技術の取り組み」<関西支部共催> 姫路じばさんびる<64名>
 (15)第24回資源・エネルギー研究会/第17回環境・廃棄物研究会合同講演会(2月22日) 大阪科学技術センター<9名>

4. CES21

- (1)第17回コロキウム(1月31日) 大阪ガス(株)<14名>
 (2)第20回CES21講演会「環境・エネルギー技術の最新動向」(2月15日) 大阪市立大学文化交流センター<33名>

5. 学生の会

- (1)第72年会学生の会パネルディスカッション「化学工学的留学論」(3月19日) 京都大学<30名>
 (2)企業見学会(6月7日) (株)月桂冠<28名>
 (3)第34回大学見学会・第55回月例セミナー(6月29日) 神戸大学<29名>
 (4)第35回大学見学会・第56回月例セミナー(10月26日) 京都大学<30名>
 (5)企業見学会(12月3日) 三井化学(株)大阪工場<20名>

6. 学協会合同企画長浜シンポジウム「これからのエネルギー・資源問題を考える」(11月15,16日)

<近畿化学協会、日本化学会近畿支部、日本分析化学会近畿支部、有機合成化学協会関西支部、環境分析技術協議会、触媒学会、日本生物工学会関西支部、エネルギー・資源学会、大阪工研協会、関西化学工業協会、日本エネルギー学会関西支部> 長浜ロイヤルホテル<47名>

7. 山口大会<中国四国支部共催>(11月22日) 山口大学

8. 第9回学生発表会(西日本地区)<中国四国支部、九州支部共催>(3月3日)

<主催化学工学会人材育成センター> 大分大学

9. 本部事業

- (1)第72年会(3月19~21日) 京都大学吉田キャンパス
 (2)第33回経営ゼミナ-ル関西セッション(8月24,25日) 大阪ガス(株)奥池ロッジ

10. 地区懇話会

. 北陸化学工学懇話会

- (1)第2回北陸地区化学工学研究交流会(3月3日)<関西支部共催> 富山大学<53名>
 (2)第196回装置懇話会(3月26日) 富山県民会館<58名>
 (3)定期総会(5月21日) 富山県民会館<33名>
 (4)第197回装置懇話会(9月20日) 福井大学<77名>
 (5)第61回化学工学講習会(11月27,28日) 富山県教育文化会館<30名>

. 播磨産業懇話会

- (1)定期総会(4月27日) 姫路じばさんびる<41名>
 (2)第1回企業見学会(7月25日) (株)ニチリン<42名>
 (3)第2回企業見学会(12月7日) ナガセケムテックス(株)<49名>

- (4)第 25 回播磨産業フォーラム(1月 30 日)「地球温暖化と対応技術の取り組み」< 関西支部共催 >
姫路じばさんびる < 64 名 >

1 2 . 会 合

常任幹事会	4 回	統一WG会議	1 回
企画運営委員会	4 回	常議員会	2 回
前正副支部長会	1 回	C E S 21 運営委員会	6 回
第 72 年会実行委員会	1 回	第 10 回学生発表会実行委員会	2 回

1 3 . 共 催 ・ 協 賛 行 事

- (1)第 4 回キンカ高分子化学研修セミナー(3月 13 日)
< 主催 : 近畿化学協会 > 大阪科学技術センター
- (2)第 14 回化学安全講習会(6月 1、2 日)
< 主催 : 日本化学会近畿支部 > 大阪科学技術センター
- (3)近化資源セミナー「ピークオイルとイノベーション - 石油価格が騰がる! “化学産業”パラダイム
転換にどう立ち向かうか? - 」(6月 7 日)
< 主催 : 近畿化学協会 > 大阪科学技術センター
- (4)第 118 回例会「東アジアにおける環境・リサイクルと資源循環を考える」(6月 7、8 日)
< 主催 : 環境資源工学会 > 関西大学 100 周年記念館
- (5)講習会「人間行動のモデリングと解析 - 計測・制御技術からのアプローチ」(6月 22 日)
< 主催 : 計測自動制御学会関西支部 > 千里ライフサイエンスセンター
- (6)第 12 講「研究開発リーダー実務講座 2007 - ビジネスチャンスを作る、掴む、活かす - 」
(7月 6 日 ~ 11 月 7 日の全 6 回)
< 主催 : 近畿化学協会 > 大阪科学技術センター
- (7)第 13 回関西地区分離技術見学討論会(7月 30 日)
< 主催 : 分離技術会 > 住友化学(株)大阪工場
- (8)大学一日体験入学 (8月 3 日)京都工芸繊維大学工芸科学研究科
(8月 25 日)甲南大学理工学部
(8月 29 日)大阪市立大学理学研究科
- (9)第 37 回電気化学講習会「実験講習会 - いま必要な電気化学測定法 - 」(9月 4 ~ 7 日)
< 主催 : 電気化学会関西支部 > 神戸大学工学研究科
- (10)フロー・マイクロ合成研究会「第 17 回公開講演会&展示会」(9月 7 日)
< 主催 : 近畿化学協会フロー・マイクロ合成研究会 > 大阪科学技術センター
- (11)第 5 回高付加価値食品開発のためのフォーラム(9月 13、14 日)
< 主催 : 日本食品機械研究会 > 富士教育研修所
- (12)第 291 回講習会「熱流体、エネルギーの応用技術 - 新エネ・省エネ特集」(9月 20、21 日)
< 主催 : 日本機械学会関西支部 > 神戸大学瀧川記念館
- (13) 60 周年記念講演会・見学会(9月 25 日)
< 主催 : 応用物理学会関西支部 > 大阪大学銀杏会館
- (14) Excel 初級エンジニアのためのスキルアップ講習会(10月 25 ~ 26 日)
< 主催 : 分離技術会関西地区 > 関西化学機械製作(株)
- (15)ステップ・アップセミナー
「わが国企業・技術者・学生のための戦略的技術経営 - グローバル展開を視野に入れた戦略事例 - 」
< 主催 : 日本機械学会関西支部 > (11月 1 日)建設交流館
- (16)バイオセミナー「今後の機能性食品に何を求めるか」(11月 2 日)

- <主催：近畿化学協会バイオ部会> 大阪科学技術センター
- (17)反応分離講習会 2007(11月2日)
<主催：反応工学部会反応分離分科会> 堺市民会館
- (18)第23回関西支部セミナー「CO2削減へ向けての基盤技術と戦略」(11月7日)
<主催：日本エネルギー学会関西支部> 大阪科学技術センター
- (19)第47回電気化学セミナー「界面を制する者は電気化学を制す - 界面の考え方とそれを利用するためのデバイスの工夫 - 」(11月8,9日)
<主催：電気化学会関西支部> 京都テルサ
- (20)近化電池セミナー「さらなる可能性を拓く電池の世界 - ピンチがチャンス - 」(11月26日)
<主催：近畿化学協会> 大阪科学技術センター
- (21)第13回関西地区分離技術講演会「医薬品プロセス化学と分離技術」(12月3日)
<主催：分離技術会> 大阪市立大学文化交流センター
- (22)第293回講習会「プロとして使う英語を磨く」(12月10日)
<主催：日本機械学会関西支部> 大阪科学技術センター
- (23)近化高機能材料セミナー「ナノファイバーの製造法と活用の今」(12月14日)
<主催：近畿化学協会> 京都工芸繊維大学
- (24)第2回若手シンポジウム「震災から社会を守る新材料」(12月14,15日)
<主催：日本材料学会関西支部> 有馬簡易保険保養センター
- (25)若手研究発表会(1月16日)
<主催：計測自動制御学会関西支部> 大阪工大摂南大学大阪センター
- (26)近化新春セミナー「素材が拓くグローバルイノベーション」(1月18日)
<主催：近畿化学協会> 大阪科学技術センター
- (27)第1回グローバルCOE生命環境科学国際会議(1月27~29日) ホテル阪急エキスポパーク
<主催：大阪大学グローバルCOEプログラム拠点「生命環境化学グローバル教育研究拠点」>
- (28)フロンティア材料セミナー「バイオビジネス入門」(1月29日)
<主催：近畿化学協会> 大阪科学技術センター
- (29)講演会「材料プロセスと熱工学」(2月1日)
<主催：熱工学部会> 大阪府立大学
- (30)FCH基盤技術懇談会第8回特別懇談会/燃料電池部会第175回定例会(2月6日)
<主催：大阪化学技術センター> 京都大学桂キャンパス

F . 中国四国支部

1 . セミナー・フォーラム

- (1)セミナー「新技術創成の鍵-産官学連携の成功のために-」(11月16日)
<中国地区化学工学懇話会と共催> 三菱レイヨン(株)大竹事業所<62名>

2 . 講演会・コロキウム

- (1)粉体ネガテクノロジー講演会(3月15日) 倉敷アイビースクエア<67名>
<中国四国支部他と共催>
- (2)特別講演会(5月18日)<岡山地区化学工学懇話会と共催> テクノサポート岡山<38名>
- (3)記念講演会(4月20日)<中国地区化学工学懇話会と共催> ホテルニューヒロデン<100名>
- (4)特別講演会(8月31日)<山口地区化学工学懇話会と共催> 山口大学工学部<40名>
- (5)総会・第1回中四国若手CEコロキウム(7月31日) 三菱化学水島事業所<72名>
<支部若手の会と共催>

- (6)特別講演会(11月19日) <山口地区化学工学懇話会と共催> 山口大学工学部 <115名>
 (7)第41回化学工学コロキウム(12月11日) 岡山大学 <30名>
 <岡山地区化学工学懇話会と共催>
 (8)第51回講演会・見学会(1月30日) <山口地区化学工学懇話会と共催> 山口大学工学部 <48名>

3. 講習会・見学会・研究会

- (1)第9回プラント保全研究会(3月15日) <中国四国支部他と共催> 広島ガーデンパレス <39名>
 (2)基礎化学工学講習会(9月25~28日) 周南市市民交流センター <48名>
 <山口地区化学工学懇話会、中国地区化学工学懇話会他と共催>
 (3)第8回「未来を担う!産学官技術者・研究者交流会」(10月19日~20日) 岡山県青年館 <28名>
 <中国四国支部と共催>
 (4)「プラント機器の腐食・防食/寿命予測」講座(11月29日~30日)
 <化学工学会人材育成センター、岡山地区化学工学懇話会と共催> 倉敷ファッションセンター <18名>
 (5)「プロセス基本設計」講座(12月5日~6日) 倉敷ファッションセンター <19名>
 <化学工学会人材育成センター、岡山地区化学工学懇話会と共催>
 (6)第19回化学工学研究会(12月14日) 宇部工業高等専門学校 <20名>
 <山口地区化学工学懇話会と共催>

4. 学生の会

5. 支部大会

- (1)山口大会(11月22日) 山口大学工学部 <133名>
 <化学工学会関西支部、山口地区化学工学懇話会他と共催>
 シンポジウム「プロセスエンジニアリングとシミュレーション技術」

6. 共催・協賛行事

- (1)夢・化学-21/広島大学オープンキャンパス(8月3,4日) 広島大学 <250名>
 <中国地区化学工学懇話会、日本化学会中国四国支部他と共催>
 (2)日本食品工学会秋季講演会(11月17日) 鳥取さざんか会館 <30名>
 <化学工学会バイオ部会、日本食品工学会他と共催>

7. 会合

役員会 4回

8. 地区懇話会

岡山地区化学工学懇話会

- (1)粉体ネガテクノロジー講演会(3月15日) 倉敷アイビースクエア <67名>
 <中国四国支部他と共催>
 (2)第9回プラント保全研究会(3月15日) <中国四国支部他と共催> 広島ガーデンパレス <39名>
 (3)平成19年度総会・特別講演会(5月18日) <中国四国支部と共催> テクノサポート岡山 <38名>
 (4)第8回「未来を担う!産学官技術者・研究者交流会」(10月19日~20日) 岡山県青年館 <28名>
 <中国四国支部と共催>
 (5)懇話会会員企業への学生工場見学会(11月14日)
 三菱化学(株)水島事業所・(株)ジャパンエナジー製油所・旭化成ケミカルズ(株)水島製造所 <47名>
 (6)懇話会会員企業への学生工場見学会(11月26日)
 三菱ガス化学(株)水島工場・新日本石油精製(株)水島製油所・JFEケミカル(株)西日本製造所 <37名>
 (7)「プラント機器の腐食・防食/寿命予測」講座(11月29日~30日)
 <化学工学会人材育成センター、中国四国支部と共催> 倉敷ファッションセンター <18名>
 (8)「プロセス基本設計」講座(12月5日~6日) 倉敷ファッションセンター <19名>

< 化学工学会人材育成センター、中国四国支部と共催 >

- (9)第 41 回化学工学コロキウム(12 月 11 日) 岡山大学 < 30 名 >
< 中国四国支部と共催 >
(10)第 42 回化学工学コロキウム(1 月 8 日) 岡山大学 < 26 名 >
(11)工場見学とミニシンポ「製鉄関連技術と石炭化学の最先端」(1 月 25 日) 岡山大学 < 29 名 >

中国地区化学工学懇話会

- (1)第 9 回プラント保全研究会(3 月 15 日) < 中国四国支部他と共催 > 広島ガーデンパレス < 39 名 >
(2)平成 19 年度総会ならびに記念講演会(4 月 20 日) ホテルニューヒロデン < 100 名 >
< 中国四国支部と共催 >
(3)第 164 回講演会(6 月 29 日) 広島大学 < 46 名 >
(4)第 12 回新技術交流会(7 月 20 日) 広島県立生涯学習センター < 32 名 >
(5)第 165 回講演会(8 月 21 日) 広島大学工学部 < 25 名 >
(6)セミナー「新技術創成の鍵-産官学連携の成功のために-」(11 月 16 日)
< 中国四国支部他と共催 > 三菱レイヨン(株)大竹事業所 < 62 名 >

徳島化学工学懇話会

- (1)第 9 回プラント保全研究会(3 月 15 日) < 中国四国支部他と共催 > 広島ガーデンパレス < 39 名 >
(2)平成 19 年度第 23 回総会・記念講演会(第 70 回講演会)(6 月 15 日) 徳島大学工業会館 < 87 名 >
(3)第 20 回工場見学会(10 月 3 日) 日本電工(株)徳島工場・日亜化学工業(株)辰巳工場 < 21 名 >
(4)第 71 回講演会(12 月 10 日) 徳島大学工学部 < 30 名 >
(5)化学講演会「化学研究の最前線」(12 月 14 日) 徳島大学工業会館 < 55 名 >
(日本化学会中国四国支部との共催)
(6)第 12 回徳島地区分析技術セミナー「環境・廃棄物と分析技術の関わり」(2 月 7 日)
(徳島地区分析技術研究会, 日本分析化学会中国四国支部と共催) 徳島大学工業会館 < 101 名 >

山口地区化学工学懇話会

- (1)第 8 回環境共生研究交流会(3 月 6 日) 山口大学工学部 < 116 名 >
(2)第 9 回プラント保全研究会(3 月 15 日) < 中国四国支部他と共催 > 広島ガーデンパレス < 39 名 >
(3)特別講演会(5 月 9 日) 山口大学工学部 < 20 名 >
(4)平成 19 年度総会・第 50 回講演会・見学会(6 月 26 日)山口大学工学部・宇部興産株式会社 < 50 名 >
(5)特別講演会(8 月 31 日) < 中国四国支部と共催 > 山口大学工学部 < 40 名 >
(6)基礎化学工学講習会(9 月 25~28 日) 周南市市民交流センター < 48 名 >
< 中国四国支部、中国地区化学工学懇話会他と共催 >
(7)基礎化学工学講習会(10 月 16~18 日) 山口大学工学部 < 17 名 >
(8)特別講演会(11 月 19 日) < 中国四国支部と共催 > 山口大学工学部 < 115 名 >
(9)食品ポリフェノールの機能と応用に関する講演会(11 月 29 日) 山口大学工学部 < 40 名 >
(10)第 7 回宇部国際バイオ分離シンポジウム(11 月 30 日、12 月 1 日) 山口大学工学部 < 60 名 >
< 化学工学会バイオ部会他と共催 >
(11)第 19 回化学工学研究会(12 月 14 日) < 中国四国支部と共催 > 宇部工業高等専門学校 < 20 名 >
(12)第 51 回講演会・見学会(1 月 30 日) < 中国四国支部と共催 > 山口大学工学部 < 48 名 >

支部若手の会

- (1)総会・第 1 回中四国若手 CE コロキウム・工場見学(7 月 31 日) 三菱化学水島事業所 < 72 名 >
< 中国四国支部と共催 >
(2)総会・第 1 回中四国若手 CE 合宿・工場見学(9 月 28~29 日)
< 中国四国支部と共催 > 三菱レイヨン株式会社 大竹事業所 < 44 名 >

G . 九州支部

1 . 講習会

- (1)第 38 回化学工学の基礎と応用講習会(8 月 1 日～9 月 7 日) 九州大学伊都キャンパス<延べ 361 名>
(2)基礎と応用延岡出前講習会(9 月 28 日,10 月 2 日,12 日,26 日) 旭化成研修所(延岡)<延べ 83 名>
(3)第 30 回九州支部講習会(1 月 17 日) T O T O (株)第 1 研修センター<33 名>

2 . シンポジウム

- 第 20 回日韓化学工学に関するシンポジウム九州ノ大田一忠南 (12 月 1 日) 国立 Hanbat 大学 (韓国)
日本側 : 139 名 韓国側 : 180 名

3 . 化学工学に関する沖縄ワークショップ (2 月 9 日～10 日) 沖縄産業支援センター<延べ 97 名>

- ・シンポジウム (1)バイオマス関連技術
(2)レアメタルのリサイクル技術
(3)機能性微粒子関連技術
(4)沖縄の特徴的技術
- ・セミナー 「化学工学の基礎と応用講習会」
- ・研究シーズ
- ・工場見学 (株)比嘉酒造

4 . 若手の会

- 第 18 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会(7 月 27 日～28 日) 宮崎観光ホテル<126 名>

5 . 九州支部学生賞審査会 (7 月 27 日) 宮崎観光ホテル

- 受賞 博士課程 : 2 名 (発表 4 名) 修士課程 : 3 名 (発表 7 名)

6 . 九州支部「第 10 回企業と大学・高専の人材育成懇談会」(1 月 25 日)

- 企業側(22 社 30 名) 大学・高専側(15 校 17 名) 福岡リーセントホテル<47 名>

7 . 共催・協賛事業

- (1)第 44 回化学関連支部合同九州大会(7 月 7 日) 北九州国際会議場
ポスター発表 646 件 / 特別講演 1 件 / 依頼講演 8 件
- (2)第 2 回マイクロカプセル講演会 (8 月 22 日) 鹿児島大学<53 名>
- (3)第 46 回工業物理化学講習会(10 月 5 日) 九州大学筑紫キャンパス<120 名>
「 - 最先端エネルギー・環境デバイス - 」
- (4)第 7 回北九州市産学連携フェア(11 月 1 日) 北九州学術研究都市産学連携センター<55 名>
「微粒子 - 製造から応用まで - 」
- (5)第 26 回溶媒抽出討論会 (11 月 8 日～9 日) 北九州国際会議場<128 名>
- (6)宮崎県北部地区モノづくりセミナー (11 月 13 日) 延岡鐵工団地協同組合<128 名>

8 . 地区懇話会

1) 東九州化学工学懇話会

- 東九州化学工学懇話会・大分県バイオテクノロジー懇話会合同見学会 <34 名>
(株)ヤクルト佐賀工場、(財)科学及血清療法研究所菊池研究所

2) 西九州化学工学懇話会

- (1)H19 年度第 1 回西九州化学工学懇話会講演会(5 月 30 日) 佐賀大学理工学部<22 名>
「Stereochemistry of Functionalised Polyamines to Macro-and Macrobicycles」
「銀、タリウムイオン選択性カリックスアレーンに関する日豪学術交流提携大学間共同研究」
- (2)H19 年度第 2 回西九州化学工学懇話会講演会(10 月 22 日) 佐賀大学理工学部<31 名>
「Development of novel adsorbents for the removal of trace toxic metals and micropollutants from aqueous solutions」

- (3) H19 年度第 3 回西九州化学工学懇話会講演会(10 月 24 日) 佐賀大学理工学部 < 42 名 >
「Making Multi-metal Molecules」
「CALIXARENES-BASED SUPRAMOLECULAR SYSTEMS」
- (4) H19 年度第 4 回西九州化学工学懇話会講演会(11 月 1 日) 佐賀大学理工学部 < 24 名 >
「State-of-the-Art of Nonferrous Metal Industry in China」
- (5) H19 年度第 5 回西九州化学工学懇話会講演会(11 月 27 日) 佐賀大学理工学部 < 34 名 >
「Life and Study in Canada」
「An Overview on Hydrometallurgical Research in Canadian Universities」
- (6) H19 年度第 6 回西九州化学工学懇話会講演会(12 月 11 日) 佐賀大学理工学部 < 25 名 >
「Synthesis and Use of Polypropylcalix[4]arene for the Adsorption of Pb(II) Cation」
- (7) H19 年度第 7 回西九州化学工学懇話会講演会(2 月 4 日) 熊本大学工学部 < 28 名 >
「高温高压マイクロリアクターの開発 超臨界流体への適応」
- (8) 崇城大学ライフサイエンス講演会(後援)(2 月 22 日) 崇城大学レセプション室 < 160 名 >
「研究生生活を振り返って 化学工学から細胞工学まで」
「微生物共生系の工業的利用」
「細胞内シグナル伝達の可視化と制御」

3) 南九州化学工学懇話会

- (1) 第 10 回石油学会九州・沖縄支部講演会 & 第 4 回反応装置・プロセスシンポジウム(4 月 28 日)
ステーションホテルニューカゴシマ < 34 名 >
- (2) 第 17 回幹事会(6 月 21 日) 旭化成向陽クラブ(延岡市) < 11 名 >
- (3) 平成 19 年度総会(7 月 6 日) ホテルパレスイン鹿児島 < 47 名 >
- (4) 第 115 回講演会(7 月 6 日) ホテルパレスイン鹿児島 < 47 名 >
「癌の微小転移診断法 患者さんに優しい癌治療を目指して」
- (5) 第 18 回見学会(7 月 6 日) 西酒造(株)(日置市) < 36 名 >
- (6) 第 116 回講演会(9 月 27 日) 鹿児島大学 < 61 名 >
「熱分解技術の開発」
「クレハの研究開発の考え方」
- (7) 第 117 回講演会(10 月 19 日) 旭化成向陽クラブ(延岡市) < 25 名 >
「吉玉精鍍の超微細化めっき技術と廃液からの有価物回収技術」
- (8) 第 118 回講演会(11 月 16 日) 鹿児島大学 < 61 名 >
「電気・電子材料廃棄物からの希少金属、貴金属の回収技術」
- (9) 第 119 回講演会(11 月 13 日) 延岡鐵工団地協同組合 < 50 名 >
(宮崎県北部地区モノづくりセミナーにて)
「ホンダイズムから」
「中小企業に生きて・・・起業から海外工場稼働まで」
「化学工学の役割について(紹介)」
- (10) 第 120 回講演会(12 月 17 日) 鹿児島大学 < 65 名 >
「エネルギーと環境技術を基盤としたマネジメントオブテクノロジー(MOT)」
実践例の紹介 ものづくりの原点から、起業化さらに経営まで」
- (11) 第 121 回講演会(1 月 11 日) 鹿児島大学 < 58 名 >
「化学企業における CAE 技術の活用～プラント全体の解析から装置詳細構造開発まで～」

4) 北九州化学工学懇話会

- (1) 平成 19 年度総会(5 月 10 日) 九州工業大学附属図書館 AV ホール < 18 名 >

- (2)第 40 回講演会 (5月 10日) 九州工業大学附属図書館 AV ホール< 45 名>
「食育のあり方について - 食育白書とその周辺 - 」
「材料強度学の教育と社会へのかかわり」
「技術者を目指す若者が自立するための助言」
- (3)平成 19 年度第 1 回幹事会 (7月 19日) 北九州イノベーションギャラリー< 10 名>
- (4)第 41 回講演会・第 29 回見学会 (7月 19日) 北九州イノベーションギャラリー< 29 名>
「北九州イノベーションギャラリーの活動について」
「地球環境問題 - エネルギー多消費社会がもたらすもの - 」
見学 東田コジェネ
- (5)平成 19 年度第 2 回幹事会 (8月 30日) 九州工業大学附属図書館 AV ホール< 10 名>
- (6)第 33 回技術懇談会 (8月 30日) 九州工業大学附属図書館 AV ホール< 33 名>
「粉体の混合操作によるマイクロカプセル化」
「液中微粒子挙動に対する粒子表面ミクロ構造の重要性」
- (7)平成 19 年度第 3 回幹事会 (10月 25日) 北九州テクノセンター< 13 名>
- (8)第 30 回見学会 (10月 25日) < 30 名>
北九州エコタウン
エコタウンセンター、株式会社リサイクルテック、西日本オートリサイクル株式会社、
福岡大学資源循環・環境制御システム研究所
- (9)第 42 回講演会 (1月 17日) TOTO(株)第 1 研修センター
(第 30 回九州支部講習会にて)

9. 会 合

幹事会	3 回
将来計画委員会	3 回
企画委員会	2 回
支部役員会	2 回
化学関連支部合同委員会	1 回
特別準備委員会	2 回